

3-29 その他教育（圏域：全市域）

3-29-1 施設再編の方針

| 対象施設 |
|---|
| 別府市市民会館別館、旧別府市総合教育センター、別府市総合教育センター、別府市学校給食共同調理場 |
| 施設再編の方針 |
| <ul style="list-style-type: none"> ➤ 別府市市民会館別館、旧別府市総合教育センターともに、現在、市民ギャラリー以外は、使用されておらず、耐震化対応もしていないため、解体し、別府市中央公民館・別府市市民会館の駐車場として整備するなど、跡地の有効活用をはかります。 ➤ 野口ふれあい交流センターとの複合施設である別府市総合教育センターは、当面、存続しますが、現建物の耐用年数を踏まえ、教育支援機能を運営していくために支障のない形で、機能移転を含め、複合化を検討します。 ➤ 別府市学校給食共同調理場は、耐震性の不足、設備の劣化、建物の老朽化などから建替えとし、その際には、民間活力の導入を視野に入れ、LCC（ライフサイクルコスト）の削減に努めます。 |

3-29-2 現状分析

① 施設の概要

別府市市民会館別館は、別府市中央公民館・別府市市民会館と同一敷地内にある施設で、昭和46年に建築された旧耐震基準の建物です。旧別府市総合教育センターに隣接し、762㎡の広さがあり、現在、市民ギャラリーのみを使用しています。

旧別府市総合教育センターは、昭和36年に建築された旧耐震基準の建物です。別府市中央公民館・別府市市民会館のリニューアル工事（耐震化）のために、平成25年10月に、野口ふれあい交流センターに機能を移転しました。570㎡の広さを持ちますが、現在、使用されていません。

別府市総合教育センターは、現在、野口ふれあい交流センター3階を使用しています。教育支援室「ふれあいルーム」および会議室、資料室、相談室などがあります。

別府市学校給食共同調理場は、別府市内の全中学校および東山幼稚園・小学校へ、給食を供給しています。

② ポートフォリオ分析結果

その他教育施設については、施設の設置目的、施設機能が異なるため、ポートフォリオ分析は実施せず、品質状況についての基礎データを掲載するにとどめます。

| 台帳番号 | 施設名称 | 占有面積 (㎡) | 品質 | | | | 平均 偏差値 (ハード) |
|------|-------------------|-------------|------------|------|--------------|------|--------------------|
| | | | 築年数 (年) | 偏差値 | 耐震 対応率(%) | 偏差値 | |
| 464 | 別府市総合教育センター(複合施設) | 591.8 | 56.0 | 34.7 | 0.0 | 30.0 | 32.4 |
| 534 | 別府市学校給食共同調理場 | 1,270.0 | 43.0 | 42.4 | 0.0 | 30.0 | 36.2 |
| — | 旧別府市総合教育センター | 570.4 | 54.0 | — | 0.0 | — | — |

図 76 各指標の基礎データ（その他教育）

③ 老朽化の状況

別府市市民会館別館と旧別府市総合教育センターは、建築後 40 年以上が経過しており、雨漏り等機能面の劣化が著しく、老朽化が進んでいます。

別府市総合教育センターは建築後 50 年以上が経過しており、老朽化が進んでいますが、平成 22 年に、耐震化は完了しています。

別府市学校給食共同調理場は建築後 40 年以上が経過しており、設備面でも劣化が著しく、建物も老朽化が進んでいます。また、耐震診断の結果、「大規模な地震により倒壊の危険性が高い建物」となっており、早急に対応が必要です。

④ 利用状況

別府市学校給食共同調理場は、1 日に約 3,000 食の給食を供給しています。

別府市総合教育センターは、平成 26 年度において 914 人で、施設の特性から、ほぼ特定の利用者に占められています。

⑤ コスト状況

別府市総合教育センターの平成 26 年度の支出は 1,625 万円で、そのうち 95%が人件費です。会議室は、教員の研修や会議に利用されているため、収入はありません。